

いのちを救う“身近なボランティア”について学びました 3年 JRC 献血セミナー 3月11日(火)

青少年赤十字=JRCの加盟登録校である本校は、本年度も、日々の教育活動に取り入れながら様々な取り組みを行ってきました。今回は、日本赤十字社のご協力をいただき、卒業を控えた3年生に向けて、献血事業について学ぶ「献血セミナー」を開催しました。これは、3年生は来年度には献血に協力できる年齢(16歳)となるため、献血についての正しい知識をもってもらうことを目的としています。



3月11日(火)、東京都赤十字血液センター 鈴木彩見 様を講師に、献血の意義や目的、その血液が実際の医療現場でどのように役立っているのかなど、映像や実例を交えて分かりやすくお話いただきました。

そのなかで、

- ・病気やけがで輸血を必要とする人が全国に多くいること
 - ・血液は人工的には作れず、保存期間も限られているため、継続的な献血が欠かせないこと
- などを学びました。

今回のセミナーは、一人ひとりの行動で多くのいのちが支えられていること、献血は誰もができる“身近なボランティア”であることなどを知り、“人のためにできること”について考える貴重な機会となりました。こうした経験を通じて、社会の一員として自分にできることを考え行動できる人になってほしいと思います。